

地域計画特論(11)

曼荼羅の世界観(ユングと密教の統合)

2005.07.07.作成

■密教のおさらい

■理と智・五大の思想

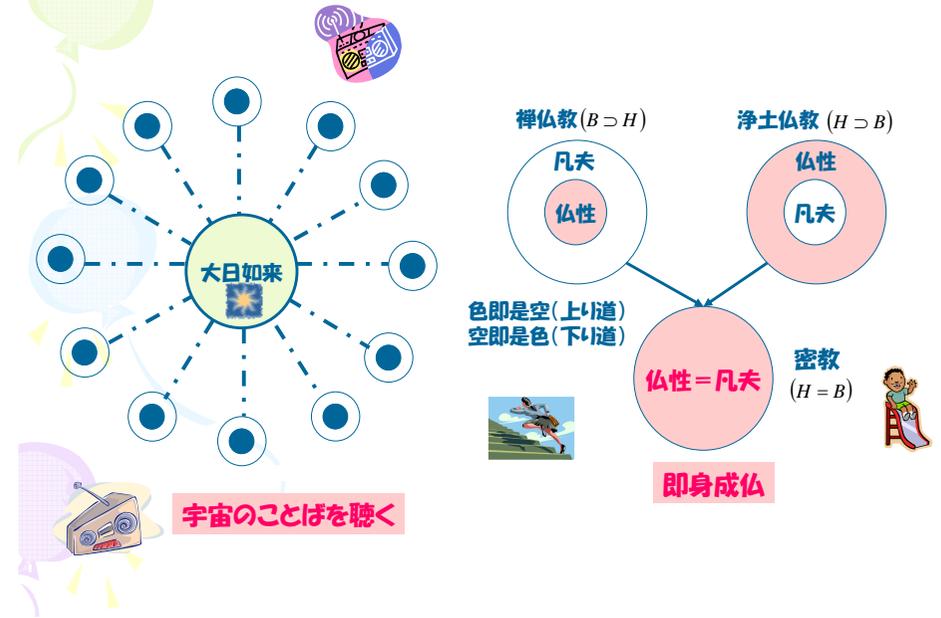
■マンダラの世界

■胎蔵マンダラと金剛界マンダラ

■ユング心理学とマンダラ



■密教の構造(復習)



■密教における曼荼羅

密教のはなし(第5回講義)において

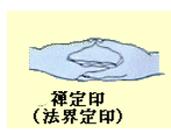
⇒行者は印契を結び、行者が仏そのものとなり、同時に行者が口に真言を唱えるとき、仏の言葉が行者の口を借りて出てくる



大日如来(金剛界)
密教の仏

大日如来も2種類ある

金剛界大日如来…智拳印
胎蔵の大日如来…法界定印
(胎蔵界というのは俗称)



大日如来が二種類の形をとる理由を考える

■理と智

五大の世界:「理」

密教では、宇宙のすべては5種類の性質でできているとする。を宇宙の物質面を表す5つの姿である。人間も宇宙の一部であるから、人間の身体も五大でできているとする。

「五大」の「大」を構成要素と訳することがある(物理学・化学の原子、元素の意)けれども、あまり正確ではなく、「大なる種」(根元的なもの・性質)とするほうが正しい。

- 地…不変 (大地、土壌)
- 水…清浄 (河海)
- 火…温和 (火)
- 風…活動 (風)
- 空…包容力 (空間)

地物に対応させるという意味ではなく「性質」としてとらえる。宇宙は5つの性質からできていることが「理」である。

■理と智

色があっても見る気がなければ無色と同じ(見ようとする心の働き…識:五大の性質をわかる心、「智」は識大の世界)

五大:地・水・火・風・空 + 「識大」(意識)

六大:地・水・火・風・空・識

宇宙が5種類の性質から成り立っているのが「理」で、その性質を見極めるのが「智」の働きである。

仏像のように足を組んで座り、人も自分の中に宇宙を持ち、自分もまた宇宙の一部であると「観じる(瞑想する)」方法:五輪成身観(自分も他人も同じ立場で仏も自分と同じところにいるのがわかってくる。

大日如来の理法身と智法身は、「本来は一元」であることを示すために、二体の大日如来を置いている。<金胎不二>

■五大思想

小宇宙と大宇宙の一体感:「哲学」⇒「瑜伽」(ゆが)
人間と宇宙が本質的に一つである

五大	形相	身体部分	顕色	教義
地	方形	足から腰	黄	本不生
水	円形	腰から臍	白	言説
火	三角形	臍から胸	赤	塵垢
風	半月形	胸から眉間	黒	因業
空	宝珠形	眉間から頭頂	青	等虚空



ヨーガの行法に登場する「チャクラ」の観想(瞑想の方法)
チャクラ⇒「車輪」⇒「太陽の象徴」(原始仏教の時代)⇒「法輪」

タントラ(密教)のヨーガ行法は太陽のエネルギーの象徴であるチャクラを自己の人体内にもあると観想することからはじまる。

■曼荼羅

マンダラ…サンスクリット語の「全体」「円」「集合」
語源的には「本質を有するもの」「完成されたもの」

密教に伝わっている「到達したい憧れの仏の世界」の全体を表現したものが曼荼羅。

仏の世界 = 宇宙の本来の姿(すなわち宇宙の全体図)

密教の教えは奥深くて、言語・文字で表現することは困難であるから、かいに図画をもって密教の大生命の世界を知らない人々に示す<空海>

いろいろな形式のマンダラが存在するため、「一定の教理あるいは世界観を平面あるいは立体によって、図示・表現するさまざまな形式」とでも定義を与えておかざるを得ない。

密教のマンダラは、瑜伽の行を通じて、行者の心象に浮かぶ聖なる仏の世界であるとともに現実世界の縮図でもある。

■マンダラの形

- 1) **円形**: 満月を表している。月輪観という清らかな満月を瞑想する修行法がある。(○)
月の満ち欠けが、心の修行段階と相似するため「完全な境地」である満月(円形)が特に重視される。
- 2) **四方形**: 完全性という意味で、円に次いで、平面空間の重要要素をすべて具備している。しかも発展・展開を暗示する四方形(いわゆる正方形)(□)
わが国では、死と発音的に相通じるので、やや忌み嫌われることがあるが、古代インドでは四天王、四聖諦などのようにまとまりのよい数字である。
- 3) **半円形**: 円の半分、不完全さを象徴していると同時に、さらに発展する余地を残している。
- 4) **三角形**: エネルギーの方向(上昇△、下降▽)を示す

■曼荼羅の色彩

- 1) **白色**: ものごとと安定と静寂を象徴するため、息災の色とされる。活性化したエーテル、空の象徴
- 2) **黄色**: 増益の色、ものごとの発展を示す。宝生如来の色、大地への鉱石、金色の黄色
- 3) **赤色**: 情熱の色、情愛・恩愛を表す色彩、阿弥陀如来の西日残照を受けて輝く火の色。
- 4) **青色(黒色)**: 神秘の色であり、同時に不安と憂鬱を表す。水の色 幻想的な動きを示す。
- 5) **緑色**: 植物の色、安定・安全・安心の色。不空成就如来の風の色

■密教のほとけと特徴

大乘仏教成立後、約500年経過した4・5世紀ごろ、インドにおいて古来の祭祀儀礼を基本とするバラモン教、民間の信仰・習俗を総合したヒンドゥー教が復興してきた。(密教の成立とも時期をおなじくしている)

広義の密教のほとけの分類:

- 1) 大乘仏教のほとけをそのまま継承したもの
薬師如来など
- 2) 大乘仏教のほとけに新しい密教的意味を与えたもの
阿弥陀如来(極楽浄土ではない)、観音、文殊、虚空蔵などが新名称で登場
- 3) ヒンドゥー教の神をそのまま導入したもの
大黒天、弁才天、吉祥天、聖天など、仏教にスカウトされた
- 4) 密教独自のほとけといえるもの
大日如来、不動明王、降三世明王、孔雀明王など

■マンダラの思想

大日如来の智慧 (五智)

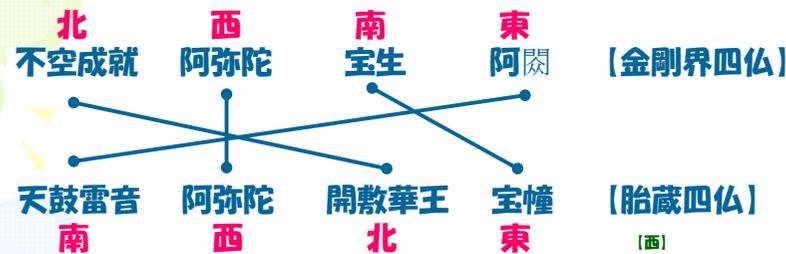
- ・ 金剛界マンダラ
- ・ 胎藏界マンダラ

どちらにも共通する考え方

- ① 法界体性智... 大日如来(法身)の普遍性・絶対性、絶対真理の世界の実体全智の能力、五智の総徳。
- ② 大円鏡智... 統一的総合的な絶対智が発動され、鏡がすべての映像を正確に映し出すように、絶対智にすべてのものの映し出されるはたらき。
- ③ 平等性智... 一切のものは千差万別であるが、その差別の底にある平等を知る智慧。理性の総合的な方向を示す。
- ④ 妙観察智... 「差別照了」を観察する智。全体のうちにおける部分を観察すること妙なること。
- ⑤ 成所作智... ものを「滋長する」智慧。智慧の実践的能力。人間の肉体と経験を通じて発動される智慧。

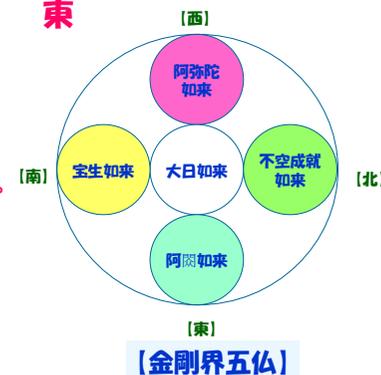
金剛界五仏と胎藏界五仏の姿をとって表される

■金剛界五仏と胎藏界五仏



線で結んだ仏は、名は違っても印相は同じで、もともと同一の仏が金胎両曼荼羅に分かれるとき、別々の仏となったことを表す。

金剛界阿闍は胎藏の天鼓雷音と同じ姿。宝生・宝幢は名が似ており、印相は同じ。阿弥陀はいずれの場合も西にいて、名も姿も同一である。



■胎蔵曼荼羅



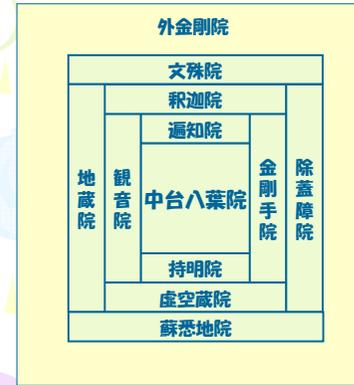
大日如来の「理」<真実>を表す曼荼羅

「大日経」を基本に描かれているとされる。
正しくは「大悲胎蔵生曼荼羅」
母親の胎内に眠る胎児のような人間が本来もっている仏性の種子が、仏の慈悲によって目覚め、育ち、花咲かせ、悟りという実をむすぶ過程を描いているもの

中台八葉院:
東西南北に四仏、そのあいだに四菩薩が展開する

大日如来(法界定印)

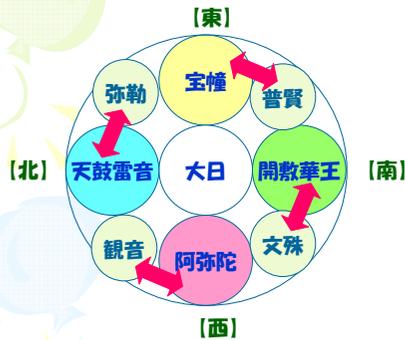
■胎蔵マンダラの構造



このマンダラの中に、390尊(または414尊)が描かれる。

1. 中台八葉院
大日如来と四仏と四菩薩
2. 遍知院
知恵のもとを生み出す
3. 持明院(不動明王、降三世明王など)
如来の降伏の力を示す
4. 釈迦院(釈迦如来を掲げる)
従来の仏教の摂取を示す
5. 虚空蔵院(虚空蔵菩薩を中心)
あらゆるものを生み出す功德を象徴
6. 観音院(観音菩薩を中心)
如来の慈悲の働きを象徴する
7. 金剛手院(金剛手菩薩を中心)
如来の力の働きを象徴する
8. 文殊院(文殊菩薩中心)
知恵の具体的な働きを象徴する
9. 蘇悉院(そしつじん)
如来のあらゆる働きの完成を象徴する
10. 地蔵院
あらゆるものを救済する働きを象徴する
11. 除蓋院
あらゆる障害を取り除く働きを象徴する
12. 外金剛院
マンダラを守り、功德をあらゆるものに広める

■胎蔵中台八葉院



宝幢(ほうどう)…発心(さとりの出発)
開敷華王(かいふけおう)…修行(さとりの努力)
阿弥陀(無量寿)…菩提(さとりの実感)
天鼓雷音…涅槃(さとりの体験)
大日…方便具足(さとりの応用)

五仏	部族	方位	身色	印契	座	持物	五智
大日	如来	中央	白	智拳	獅子	五鈷	法界体性
阿閼	金剛	東	(青)黒	触地	象	金剛	大円鏡
宝生	宝	南	黄	与願	馬	宝	平等性
阿弥陀	蓮花	西	赤	定	孔雀	蓮花	妙觀察
不空成就	羯磨	北	(緑)青	施無畏	金翅鳥	羯磨	成所作

■金剛界曼荼羅

大日如来(智拳印)



大日如来の「智」<知恵と実践>を表す曼荼羅

「金剛頂経」を基本として描かれているとされる。
金剛=ダイヤモンドのように、永遠に壊れることのない堅固な悟りを本体とする曼荼羅

全体が9個の方形に等分されることから
⇒「九会曼荼羅」(くえ)とも呼ばれる

根本会:
大日如来を中心
東西南北に四仏

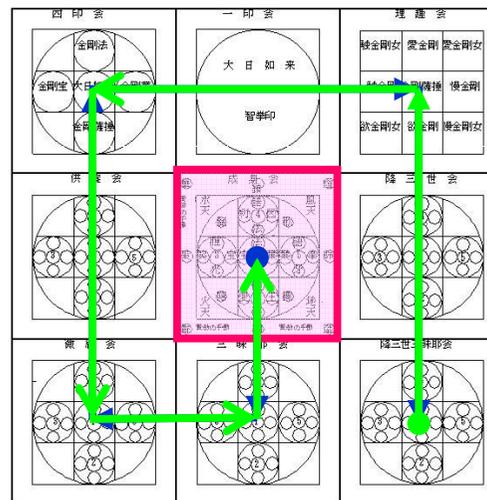
■九会曼荼羅の特徴

胎蔵マンダラとは異なって、同じほとけが何度も姿・形を変えて登場する。ドラマの場面のような構成になっている。

- ①成身会(じょうしんえ): 金剛界マンダラの中心、密教的世界を尊形で表現したもの
- ②三昧耶会(さんまやえ): 成身会を諸尊の働きを示す持ち物(三昧耶形)などで表現したもの
- ③微細会(びさいえ): 中央の三十七尊は小さな光背を持つ。成身会を文字もしくは音で表現しようとしたもの
- ④供養会: 五仏以外の諸尊は女性の姿。成身会の内容を諸尊の動き(エネルギー)で表現したもの
- ⑤四印会: 成身会を簡略化し、代表的尊格のみで表現したもの。大日如来と各方位の菩薩のみ(如来の代理)
- ⑥一印会: 成身会を本尊の大日如来のみで表現したもの
- ⑦理趣会: 金剛界のマンダラの教えを金剛薩埵などで表現したもの。大日如来が登場しない。
- ⑧降三世会: 教えに従わないものために、忿怒のほとけ降三世明王を表現したもの
- ⑨降三世三昧耶会: 降三世会を諸尊の働きを示す持ち物などで表現したもの

■金剛界曼荼羅

最も重要な部分⇒成身会(根本会、羯磨会ともいう)



向下門: 中心から外へむかう
「従果向因」の見方
⇒仏によって救済される道程

向上門: 凡夫の心から仏果へむかう
「従因向果」の見方
⇒修行によって聖の世界へ移行する

向下門(出発点)となるとき:
羯磨会という

向上門(終着点)となるとき:
成身会という

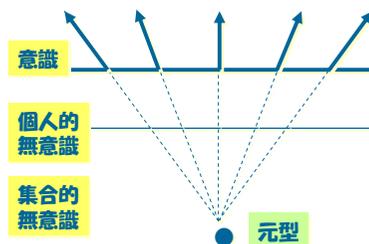
■ユングの深層心理と唯識

仏教では人間の通常の意識として六識とする(中観派)
眼・耳・鼻・舌・身・意(分別・判断の認識作用)
唯識学派ではさらに「摩那識」「阿頼耶識」を考える(第7識・第8識)

摩那識:
対象を明瞭に捉える意識だけではなく、漠然と無意識のなかで思い浮かべる識。通常の意識の奥底にあって働く、個人の領域の認識活動。

阿頼耶識:
アーラヤは蔵、抛い処の意味。悟りの種子(しゅうじ)だけでなく迷いの種子もおさめる蔵となる識のこと。無始以来、未来永劫それらを蔵している深層の意識を指す。

ユングの個人的無意識は摩那識に
集会的無意識は阿頼耶識に、ほぼ
対応させられる。⇒(講義済み)



■ユング心理学とマンダラ

実証主義の西欧でマンダラに着目したのが、C・G・ユングである。
(ユング心理学については講義済み)

ユングは予備知識なしに、ある特殊な状況の下で不思議な図形を見て記録した。後に、その図形が千ベットのマンダラに酷似していることを知り、研究が進められた。

精神病患者の一部に自由に描かせた絵の中に、マンダラに近いものが多いことや、精神病の治療にマンダラが作用することを発見し、それを発展した。

患者がマンダラ様式のものをつくりたい、描いたりするときには、「心が乱れて自分が奈落の深淵の世界に落ち込んでいく寸前、やっこのことごとくがんばっているような状態」のときである。



ユングの女性患者の描いた絵

■ユングの元型とマンダラ

マンダラは心全体を表すひとつのイメージであり「自己」と通じるものである。人が自己と向かい合おうとしているときマンダラのイメージが無意識に出現する。

箱庭療法や絵画療法を行っているときマンダラ表現が現れることがある。症状や悩みが極限の段階で解消するときと逆に重圧に耐え切れずに精神病様の症状が発言するときの2つの時点でマンダラ表現がみられる。(解釈の糸口になる場合と、悪化する前兆となる場合がある)
⇒ したがって、マンダラが現れることがかならずしも良いことではない。

マンダラは、個と他とが切り離された個でなく、相互に密接な関係性を保ちつつ、それが特性を発揮し、またその中に供養とか護衛のような行動を含む複雑な構成をもつ人間の社会を象徴的に示した絵画と見ることできる。ユングの述べた「自己」(元型)の表れであると考えられる。

<筆者意見:複雑系の世界観と同じ内容を述べているようにおもわれる>

■今回の参考文献

1. 松長有慶:密教・コスモスとマンダラ、NHKブックス、日本放送出版協会、1985.
2. 頼富本宏:密教 悟いとほとけへの道、講談社現代新書、1988.
3. 松長有慶編:曼荼羅 色と形の意味するもの、朝日カルチャーブックス19、大阪書籍、1983.
4. 松長有慶:叢書 現代の宗教⑭ 仏教と科学、岩波書店、1997.
5. 花山勝友:図解 密教のすべて、PHP研究所、1994.
6. 金岡秀友:密教の哲学、講談社現代新書、1989 .
7. 頼富本宏:密教とマンダラ その万華鏡的世界、日本放送出版協会、1990.
8. Books Esoterica 密教の本 驚くべき秘儀・修法の世界、学習研究社、1992.

■今回の参考文献(つづき)

9. 松長有慶:密教、岩波新書、1991.
10. 西上青曜:図解 マンダラのすべて、PHP研究所、1996.

